

令和3年産 美里地区の稲作情報

宮城県美里農業改良普及センター

第3号 令和3年6月11日発行

TEL:0229-32-3115 FAX:0229-32-2225

http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/



1. 気象経過

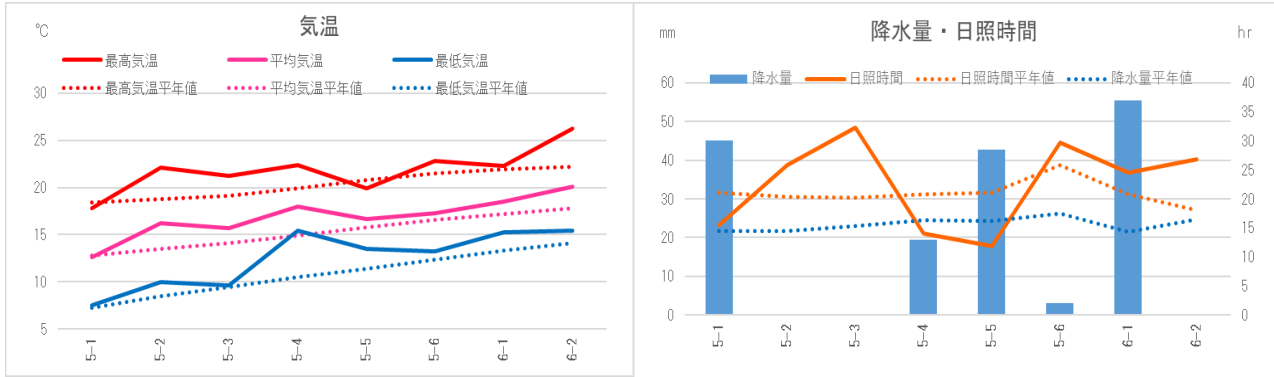


図1 半月別気象経過（鹿島台アメダス）

表1 5月・6月半月別の気象経過（鹿島台アメダス）

期間	平均気温		最高気温		最低気温		降水量合計		日照時間合計	
	本年値 (°C)	平年差 (°C)	本年値 (°C)	平年差 (°C)	本年値 (°C)	平年差 (°C)	本年値 (mm)	平年比 (%)	本年値 (時間)	平年比 (%)
5月計	16.1	1.4	21.1	1.3	11.6	1.5	73.5	77%	193.7	102%
6月第1半月	18.5	1.3	22.3	0.4	15.3	2.0	37.0	259%	36.9	119%
6月第2半月	20.1	2.3	26.2	4.0	15.4	1.3	0.0	0%	40.3	149%

*5月第6半月から6月第2半月にかけて、平年と比べて気温は高く、日照時間は多く推移しました。

2. 管内生育調査ほの生育概況

生育は概ね順調に推移しています

表2 生育調査ほの調査結果

調査地点	品種	区分	田植日	栽植密度 (株/m ²)	6月1日調査結果			6月10日調査結果				
					草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	
涌谷 (小谷地)	ひとめぼれ	本年値	5月9日	18.6	28.9	93	5.3	31.2	203	6.8	40.6	
移植	ひとめぼれ	本年値	5月8日	16.1	25.9	114	4.9	26.1	258	6.7	43.4	
		前年比・差	1日早い	99%	105%	123%	-0.7	87%	149%	-0.9	110%	
		4ヶ年平均比・差	4日早い	99%	106%	133%	-0.8	90%	146%	-0.6	109%	
		本年値	5月11日	14.2	23.2	78	5.3	28.6	210	6.9	38.7	
鹿島台 (木間塚)	ササニシキ	前年比・差	前年と同じ	91%	115%	66%	0.4	108%	83%	0.1	99%	
		平年比・差	4日早い	91%	90%	68%	-0.2	86%	75%	-0.4	97%	
		本年値	5月21日	16.4	20.8	72	4.3	36.6	77	5.5	42.5	
鹿島台 (木間塚)	だて正夢	前年比・差	2日早い	87%	132%	99%	0.7	115%	114%	-0.1	130%	
		4ヶ年平均比・差	8日遅い	82%	95%	82%	-0.7	115%	48%	-1.1	107%	
南郷 (和多田沼)	金のいぶき	本年値	5月4日	16.5	26.2	102	6.1	28.9	220	7.8	43.4	
		前年比・差	1日遅い	101%	101%	153%	-0.2	102%	120%	-0.5	107%	
直播	小牛田 (荻塚)	ゆみあずさ(湛水点播(鉄))	本年値	5月6日	16.7				23.3	86.8	5.4	

※平年値は過去5年間の平均値。過去平均は5年未満の平均値。

※6/2発行の情報で、だて正夢の田植日の「前年比・差」「4ヶ年平均比・差」が異なっていたため、修正した。

- * 草丈：前年及び平年・過去平均より長いほ場が多い。
- * 茎数：前年より多いほ場が多い。平年・過去平均は、鹿島台「ササニシキ」及び「だて正夢」以外のほ場では多い。
- * 葉色：前年及び平年・過去平均と同程度～濃い。
- * 葉数：前年並～平年・過去平均よりやや少ない。田植時の葉数、表土剥離等が影響していると考えられるが、今後の気温の上昇に伴い、前年、平年・過去平均並になると思われます。

3. 今後の栽培管理

【水管理】

茎数の少ないほ場では、水深2～3cmの浅水管理を行って、分けつの発生を促しましょう。ガスの発生が多いほ場では、一時落水して酸素を供給し、その後間断かん水を行きましょう。

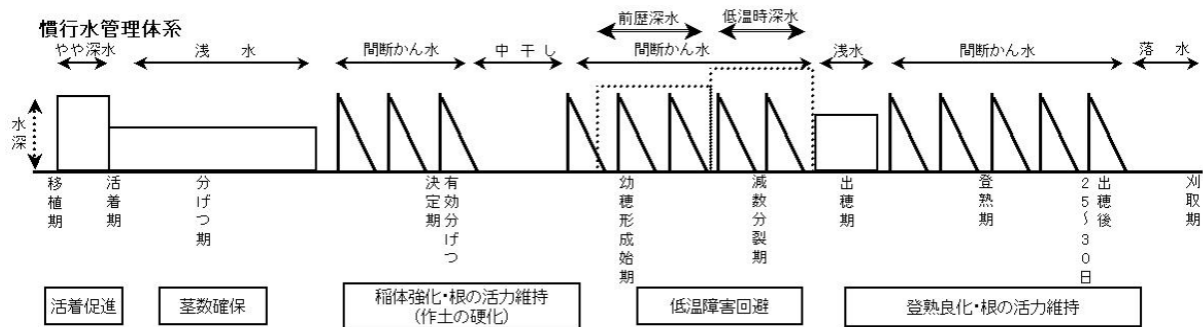


図1 基本的な水管理体系

【病虫害防除】

○いもち病

BLASTAMによる推定では、6月はまだ感染好適条件の出現はありませんが、今後、梅雨入りに伴い出現が予想されます。箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、各種水面施用剤を防除適期（6月中～下旬）に散布しましょう。予防防除を行った場合でも、発病が見られたら茎葉散布剤で速やかに防除しましょう。

まだ苗が残っているほ場があります。速やかに処分しましょう！

○斑点米カメムシ類

畦畔や農道などで、主要加害種であるアカスジカスミカメの越冬世代成虫が見られます。今後水田周辺のイネ科雑草に定着するとみられます。

畦畔や農道、雑草地、休耕田等のイネ科雑草は、斑点米カメムシ類の増殖源となります。

計画的な草刈りを行い、カメムシ類の増殖を抑えましょう。

また、イヌホタルイ多発田においても、アカスジカスミカメの密度が高まります。

残草が目立つ場合は、中期・後期除草剤等により追加防除を実施しましょう。